

ESD 演習 (環境発達学) I・II

3 年生対象 金 5 限

前期は、4 月 15 日・22 日にガイダンス (B210 教室)

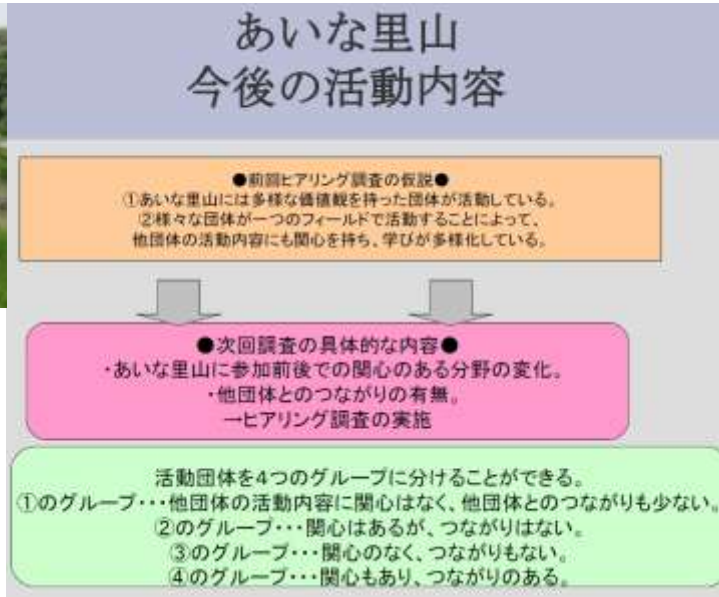
以後はそれぞれの担当教員との調整による時間教室で授業が行われます。

発達科学部の ESD 演習は、「あいな里山」「こうのとりのプロジェクト」「子育て支援」「サイエンスショップ」の 4 つの演習フィールドが用意されている。それぞれのフィールドでアクション・リサーチを通じて、見て、感じて、気づきを深め、持続可能な社会づくりのための教育を考える。(発達支援論の演習には認定演習となるものもあります。)

演習の 4 フィールドの紹介

A あいな里山

神戸市北区の藍那(あいな)の国営明石海峡公園・神戸地区で活動する「あいな里山ジオパーク」のメンバーの協力を得ながら、環境学習の検証・実践に取り組んでいる。



- ・ ESD 演習 I (前期) でのまとめ 「あいな里山」フィールドの ESD 的な可能性
- ・ ESD 演習 II (後期) での活動 各参加団体との交流、ヒアリング調査
- ・ 『仮説』の設定
- ・ 『アクション』の見通し

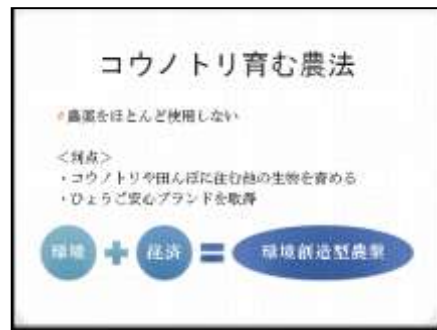
B こうのとりのプロジェクト

2010 年度は、神戸市西区神出町の兵庫楽農生活センターで開催されている「親子農業体験教室」への参画を通じて ESD を検討した。

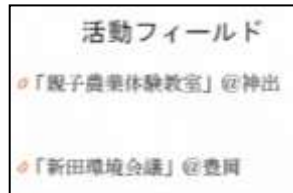
11 月には 2008 年度から継続し関わってきている豊岡市立新田小学校での「新田環境会議」に参加し、環境問題を考えるワークショップを実施した。



↑ (楽農生活センターでの親子農業体験教室の田植え)



(新田環境会議) →

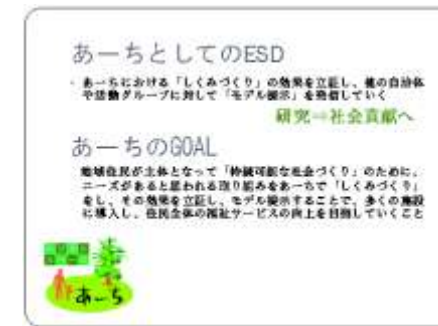


C 子育て支援

子育て支援の演習では、人間発達環境学研究科サテライト施設「あーち」でのプログラムに参画し、その活動を振り返る過程での気づきを演習生で共有しながら、社会の課題を検討する方法を継続し実施している。



(あーちの「おひさまひろば」の活動) →



D サイエンスショップ

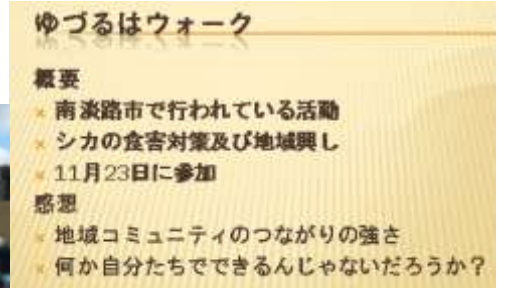
DEV CAFE の活動

10 月～12 月までに計 5 回のカフェを企画
目的: 学生による知識のプラトホームづくり
学科間の壁を取り払い、学際性を高める
⇒ ESD につながるのでは?

対象: 発達科学部生
結果: 少数ではあるが興味を持った学生の中には自発的に企画を提案した学生も

サイエンスカフェ、サイエンスショップをフィールドとして、学生自らが設定する課題について、アクション・リサーチに取り組む演習を行っている。2010 年度は、学生企画によるカフェ (Developer's Cafe) の開催や後期では、南あわじ市のシカの食害対策や地域振興の取り組みにも参画した。

(南あわじ市での活動) ↓ →



☆ 他学部演習生との合同発表会

前・後期それぞれ期末には、文学部や経済学部の演習生との合同の発表会を実施している。発表後は、ワールドカフェ方式での意見交換会により、多様な視点も持つ学生の交流を通じた学びを促進する機会としている。



ESD サブコースについては、
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター (発達科学部 A 棟 1 階) 担当: 高尾
TEL 078-803-7970 FAX 078-803-7971 <http://www.h.kobe-u.ac.jp/3585> esdkobe@koala.kobe-u.ac.jp